

テーマ

素直な心をもった都祁の子を育てよう！

目標

素直な心をもった都祁中学校区の児童・生徒の育成を目指し、目標に向けてなかまと協力して頑張る、相手を思いやる、がまんする、関心をもつ、感動する、感謝する子どもに育てていく。

今年度の取組紹介

素直な心をもった都祁中学校区の児童生徒の育成を目指して、今年度も数々の取組を行いました。

○「コミュニティ・カレンダー」の発行と「研修会」の開催

今年度、新たな取組として「コミュニティ・カレンダー」を作成しました。地域の行事と子ども園と小中の行事を掲載し、地域の皆さんに子どもたちの活動をお知らせするとともに、校園に足を運んでいただけるように、行事のPRもしている。



また、「地域とともにある学校づくり研修会」を開催し、地域の皆さんと共にこれからの学校づくりについて学びました。

○「体力向上」の取組

地域の方々の支援をいただきながら体力向上にも取り組みました。

夏休みには各小学校で「水泳教室」を開催し、地域の方や水泳講師に指導していただきました。気温が低く、泳げる日が少ない都祁地域の子どもたちですが、この取組により水泳が苦手な児童もしっかり泳げるようになりました。その自信が、他の活動への意欲向上にもつながっているようです。また、小学生の陸上大会に備え、中学生の陸上部員が指導する機会も設けました。技能の向上だけでなく、地域的な縦のつながりも強める事ができました。



今年度のまとめ

今年度実施したいずれの事業も、コーディネーターさんを中心に多くのボランティアの皆さんにご協力いただき、それぞれの目的を達成することができました。都祁地域の児童生徒は、様々な活動に地域の方々がいつも目を掛け、気を配っていただいていることを実感し、地域のすばらしさを知り、地域の一員としての自覚も高まってきました。

来年度に向けて

地域教育協議会の活動及び5つの運営委員会の活動は、年々充実したものになってきています。しかし、それぞれの学校や運営委員会単位での活動が中心となってしまう、校区としての有機的なつながりが弱いという課題はなかなか解消できていません。来年度から本格実施される小中一貫教育の中での取組とも連携しながら、縦（小中）と横（小小）や都祁地区全体として取り組める事業を進めていきます。

テーマ

ガンバレ！ 都祁中 Family!

目標

地域の方々との交流を図りながら、地域を愛する心を育てるとともに、諸活動を通して豊かな心とたくましい体力の向上を図り、意欲的に活動する中で生きていく力を培い、感謝する気持ちを大切にできる生徒を育成する。

今年度の取組紹介

○「職場体験学習」

今年度もコーディネーターさんや地域の方々の多大なる支援を得て3日間の職場体験学習を実施することができました。昨年度より再開した取組ですが、今年も全ての体験を都祁地域内の事業所で実施させていただきました。各事業所の皆さんはお忙しい中ですが、地域の子どものためにと快く引き受け、全面的に協力していただきました。生徒たちは、仕事や将来についてしっかり考える事ができたと共に、自分達が住んでいる地域を愛し、誇りをもって生活することにつながったと思います。



○地域交流会「先輩に学ぼう」

昨年度に引き続き実施した地域交流会「先輩に学ぼう」は、都祁地区の公民館などで和楽器の演奏や手話・要約筆記に取り組んでおられる方など、13講座30名を超える講師の皆さんに指導していただきました。生徒たちは、生涯学び続けることが人生を豊かにすることや、周りの人をも幸せにできるという事を学ぶことができました。



今年度のまとめ

上記の地域交流会や「雅楽教室」など、地域の方々に来校いただき、地域の方々の力によって充実した取組となりました。地域の方々とふれあう中で、地域社会の一員としての自覚も高まってきました。

また、文化祭の合唱への参加など、様々な場面で地域の方が学校の行事に参加していただけるようになり、地域とのつながりが深まってきました。

来年度に向けて

「職場体験学習」を継続実施することができ、生徒が校外に出向く活動は、地域のお年寄り宅を訪問する「おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋」とともに、地域で活動することができました。地域に出向き、地域の中で活動することで、地域の一員としての自覚がより高まります。来年度は、通学路の点検・清掃活動や防災についての取組など、生徒たちが地域から守られる存在から、地域を担う存在へと成長できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

テーマ

ふれあい、輝く並松っ子

目標

**地域とのふれあいを通して、並松小学校の子どもたちの
健やかな成長をめざし、知・徳・体のさらなる向上に取り組む**

今年度の取組紹介

○地域との交流（学習支援活動を中心として）

地域の伝統食として、今も地域の神社にお供えされているちまきは子どもが元気に育ったお祝いやこれからも元気に育ちますようにとの願いが込められています。ちまきは、つきたての餅だんごを地域に自生する笹と雌萱で包み、藺草で巻いて作られます。本年度も地域のボランティアの方に6年生と保護者を対象に指導していただきました。



自然豊かな地域に住んでいながら萱や藺草を知らなかった子どもも多く、伝統的な食文化にふれ、先人の知恵やちまきに込められた願いを知ることができました。



「ふるさと学習」…ふるさとを知り、探索し、愛着を持たせる、ふるさとに誇りを持たせる取組です。南之庄国津神社・来迎寺・葛神社・水分神社を巡り、地域の方々にお話をして頂きました。今まで何気なく見ていたものが、歴史を知ることによっていつもと違って見え、普段入れないところまで案内して頂き貴重な体験をしました。

地域のたからものとしてまとめ、観光モデルコースを作り、学習発表会で紹介しました。この活動を通して、地域・ふるさとの方に愛され、慈しまれて育った子どもたちは、ふるさとの良さを体感し、ふるさとを受け継ぐ担い手になってくれるだろうと考えます。

今年度のまとめ

年間計画に基づき、地域の方々からの指導や支援を得た様々な活動に積極的に取り組むことができました。学習支援活動・登下校の見守り活動・環境整備活動などの同じ事業内容では、昨年度の課題の上から進めることができ、活動するメンバーが替わるので、毎回新鮮な感動・新しい発見がありました。低・中・高とまとまってする活動では、2年目になる児童は経験したことを見通しをもって体験できるので活動の広がりや深まりがあります。職員の意欲的な指導、保護者・地域の方々からの心温かい支援に支えられ、教科・領域の学習にとどまらない教育活動を実践できました。これらのことが、子どもたちに故郷を愛する心を育み、良き社会人として自立できる基礎を築いていくと考えます。

来年度に向けて

中学校区で進める「保小中一貫教育推進プラン」に沿って、地域の特色を生かした体験活動の充実、子どもたちの体力向上、環境美化、ふるさとを知る学習に取り組み、地域の多くの方々の力を借りながら、子どもたちが人と人との関わりを大切にして、たくましく生き抜いていく力を培っていきたく考えています。

今後も、情報発信・情報交換、子どもたちに継続的に関わっていただける人材の確保、学校や地域の担当者が代わっても引き続き支援が得られるような組織の更なる強化を図っていきます。

テーマ

瞳きらきら 心うるおう都祁の子の育成

目標

地域力を生かし、信頼と活力ある学校で、感動体験・思いやりの心・信頼の心を育てる。瞳を輝かせ、何事にも主体的に活動する子どもを育成する。

今年度の取組紹介

○ 米作り・野菜作り栽培体験学習

自然や地域とのかかわりを深めるために、各学年で栽培体験学習を実施しました。米作り体験、土づくり、水菜や白菜・サツマイモの栽培、ケナフの栽培から「はがき・炭づくり」など、地域の農業について体験することができました。体験学習の際には、ご来校頂いた地域の方々と直に話すことによるコミュニケーション力が高まりました。また、観察したことや経験したことを絵や作文にまとめたり、お礼の手紙を書いて渡したりしました。自分の思いや考えを文章に書くことを通して、表現力を養うことができました。



○ しめ縄作り

昔は刈り取った稲わらを取り置き、年末におのおの自宅でしめ縄を作っていたが、長らく作らなくなっていました。わらを編み、しめ縄を作るという体験をさせることで、地域に伝わることを伝承していくことは大変意義深いことである。



今年度のまとめ

学校支援コーディネーターと学校が事前の打ち合わせを行うことで、それぞれの活動がスムーズに実施できました。地域の方々が熱心に協力していただき、子どもたちとの交流や触れ合いを深めることができました。また、それぞれの活動後に、お礼の手紙を書くことで、子どもたちの地域の方々への感謝の気持ちを伝えることができました。地域の方から「この手紙は、宝物や」の言葉やお返しの手紙をいただき、子どもたちの活動意欲と共に地域の方へパワーをもらっていただく双方向の交流ができました。

活動を通して、地域を誇りにする心、主体的に考え表現する子どもの育成に努めることができました。

来年度に向けて

次年度は、教科学習や学校行事との関連をより綿密に図りながら、さらに効果的な活動を取り入れていきたいです。今年、蚕を育て、繭をとる活動を行いました。故郷「都祁」の昔の地域産業のパワーに触れて更に誇りをもてるきっかけとしていきたいです。

テーマ

スマイル タウン！ HAYAMA

目標

**地域の教育力を生かした活動を通して、
地域とともに笑顔あふれる楽しい学校づくりに取り組む**

今年度の取組紹介

《吐山探検隊》

地域にある伝統文化や自然環境を学びました。本州南限にあると言われるスズラン群生地を見学したり、ハコネサンショウウオ探しに出かけたりといった自然の観察、伝統文化である太鼓踊りを学び運動会で発表するといった活動は、地域の方の協力無しには行えませんでした。

《環境整備活動》

毎年夏休み中に、児童・保護者だけでなく、地域の方々も一緒になって学校の環境整備を行っています。また、花を育て、育てた花を児童一人一人が生け花にして、9月の敬老会でプレゼントしました。

《ふれあい音楽教室》

全学年から有志を募って集めたメンバーを「音楽リーダー」として、4月から練習し積み上げた歌を11月のだれでも参観日で披露しました。1年生から6年生までの全校児童の美しいハーモニーが、体育館いっぱい響きました。



大和川の源流を探せ！



どんな生け花になるかな？



心を込めて歌おう！

今年度のまとめ

歌の発表では、多くの保護者・地域の方から、感動したという声をいただきました。また、児童からは、一生懸命取り組んだ充実感を日記に書いていました。吐山探検隊では、様々な分野があるにもかかわらず、多くの地域の方に協力していただき、地域人材が豊富であることを実感しました。笑顔あふれる学校であり続けられているのは、地域の方の力によるものです。

来年度に向けて

地域の方との交流があるおかげで児童と地域の方が顔見知りになり、声を掛け合う姿が増えてきました。これまで以上に地域の方や保護者の方の意見を聞き、連携を深めて学習を進めていきたいと思っています。また、今年度あまりできていなかった中学校との交流事業も、今後考えていきたいです。

テーマ

学び・ふれあい六郷の里

目標

豊かな自然を生かした活動や、地域の人々との交流を通して、ふるさとを愛する豊かな心と強い体を育み、人と人とのふれ合いを大切にする子どもを育む。

今年度の取組紹介

○ 米作り体験教室

本年度も地域の農家の方々の協力により、5年生において米作り体験を実施しました。学校のすぐそばの田んぼをお借りして、代かき、田植え、稲刈り、脱穀までの作業を体験することができました。今回も田んぼに張り縄をして、きれいに苗植えができました。夏場の水の管理や雑草とりなどががんばったかいがあったようで、約35kgのお米を収穫することができました。収穫したお米は、家庭科の実習で炊いて全校で味わいました。この活動を通して、生産する苦労や喜び、勤労の大切さ、地域の方々とのふれあいの大切さを学ぶことができました。



○ ふれあい文化体験交流会（六小まつり）

六小まつりでは、2学期から練習を積んできた合唱や合奏を保護者をはじめ、地域の方々にも聞いていただくことができました。その際、6年生が室町文化体験として行った生け花の作品も会場に飾り、交流会に花を添えることができました。音楽発表後、月ヶ瀬保存会の皆様による、尾山まんざい・狂言の鑑賞会を行い、実りのある六小まつりとなりました。



今年度のまとめ

米作りや野菜作りなどの自然・勤労体験を通して、子どもたちは、自然の恵みや豊かさに気づき、生産する喜びや勤労の大切さも学ぶことができました。自分たちが育てたものを食したときの喜びは大きいものがありました。六小まつりの音楽発表会では、保護者や地域の方々にきていただき、子どもも大人もいっしょに歌い、すばらしい音楽会を開くことができました。地域の学習や学校の環境整備においても地域の方々の協力のもと、ともに活動することで人とふれ合うことの大切さや、周りの人たちに対して感謝する心を育むことができました。

来年度に向けて

地域の産業や文化、歴史に目を向けた学習をより一層充実したものにするために、コーディネーターとの連携を密にして、これらに精通した地域の人材の確保や掘り起こしをしていかなければなりません。地域の方々とのふれあいや体験活動を通して、さらに地域を愛する心を育んでいきたいです。